

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 31 年 2 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443



平成最後となった新年合同賀詞交歓会



挨拶する平山良一理事長



中締めの高島憲高氏

平成最後の賀詞交歓会を開催
 小さくても自分たちの強みを
 生かしオンリーワン企業目指せ

平成三十一年新年賀詞交換会は、一月十日(木)午後五時より上野精養軒で組合員、会友、協賛会、報道関係、ご来賓など約二〇〇名が参加して盛大に開催されました。

初めに本間専務理事の司会で今回が平瀬々井最後の賀詞交歓会になることが告げられ、ご来賓の紹介の後担当協組を代表して平山

良一理事長が挨拶しました。平山理事長は「平成は間もなく改元されますが猫の三十年間を振り返りますと、前半は努力をすれば何とかなる、成功事例を右へならえすれば乗り越えていけるという時代であったかと思

の価値観が入ってくる。国内でもIT活用で昔の技術ではない新たなものが生まれる、また、業界でも異業種参入やデジタル化といった変化が怒っています。いわば価値観が多様化で、それをお互いに認め合う時代になってきたと感じます」と社会の変化について語りました。

さらに「私たちも多様性に満ちていると思います。それは我々中小企業はその会社の社長や従業員の個性が作る法人格でのあり方は千差万別だからです。社会が多様化しそのニーズが種々生まれる中、そこに必要とされフィットする個人的な法人があるはず。自分たちの特長、強みを強化することで小さくても輝く会社に、オンリーワン企業を目指そうではありませ

か」と訴えました。続いてご来賓として東京都中小企業団体中央会の三原浩道事務局長が「ものづくり補助金など様々な補助金助成金を用意している。また、昨年好評だった『組合まつり in Tokyo』が今年も今月三十日、三十一日の二日間開催され、ラベル組合さんも出展予定ですがね大きな成果を期待したい」と祝辞を述べました。

続いて協賛会会長のリンテックの西尾弘之社長が「今年は元号改正や参議院選挙、消費税増税など大きな出来事があるが、ラベル業界にとって大きなビジネスチャンスでもあるので、組合と協賛会が協力してさらに発展させたい」と述べました。

乾杯の音頭は東京都正札シール印刷協同組合の田中浩一理事長が執り、出席者全員で乾杯、和やかな歓談の後、午後七時前にラベル組合の北島憲高常務理事が中締めを行い、無事お開きとなりました。

栗原延行さんと私

兄として、またある時は親以上に

「本間さん、おれパーキした。」

「本間さん、おれパーキした。」と、栗原さんに言われたのは約二十五年前でした。私にも同じ病気の友人がいたので、どんな病気なのかは分かっていただけに、大きなショックを受けました。私が栗原さんと初めてお会いしたのは、昭和四十七年に私がまだ当時の包装タ

イムスにいた頃で、栗原さんもまだ栗原印刷の社長に就任したばかりでした。それ以降、取材に行く度に可愛がっていただき、特に組合の会合の取材の時には、アフター5にも誘っていただき、本当に色々なことを勉強させていただきま

した。その後私がラベル新聞社に移ってからも、それまで以上に公私ともに面倒を見て頂きました。当時私は台湾のシール印刷業界にも詳しくなかったため、ある日栗原さんから「今度台湾で外注先を探したいから、一緒に行ってくれないか」と言われ、ご一緒させていただきました。

この時に、台湾の粘着紙メーカー高冠企業の郭社長や正美印刷の蔡社長と親交を深めたことは大きな収穫でした。昭和六十二年には、連合



昭和62年ドルッパで

昭和六十二年には、連合パ視察があり、ラベル組合からも十数名が参加しました。約一週間の視察でしたが、この際にホテルが二名一室でしたが、栗原さんが私を同室希望者として指名してくださり、当然栗原さんは一人部屋と思っていただけに、ビックリすると同

時に、嬉しかったことを今でも覚えています。

一週間同じ部屋で過ごし、この間に本当に色々な話を夜遅くまで二人でし、翌日の移動のバスの中では、居眠りをしていたのは今となつては楽しい思い出です。帰国後、栗原さんが「本

間さんとはウマが合うのではなく、同じ丑年だからウシが合うのかな」と言つて二人で大笑をしました。私は昭和六十三年にラベ

ル新聞を退社することになり、当時栗原さんは連合会の専務理事として手腕を發揮していましたが、シール印刷の歴史を後世に残しておかなくてはということ

で、業界史を作ることになり、その編集・執筆を引き受けてくれないかと栗原さんから依頼されました。そしてあの「シール印刷業界のあゆみ七七年史」が発刊されましたが、国会図書館にも寄贈し、その際に「七七年史というネーミングと年史らしからぬ編集方法が面白い」と評価を頂き栗原さんからも「本間さんに依頼してよかった」と言

っていただけだったが、どんな褒め言葉よりもうれしかったことを今でも忘れません。

私は当時大阪の日新シールの西村社長にも可愛がっていただき、大阪に取材に行く度に自宅でご馳走になつたり、カラオケを一緒にしていましたが、昭和六十三年に西村さんから「今度一度栗原さんを紹介してくれないか」と言われ、その一ヶ月後に銀座で二人を引き合わせました。

これがその後、平成四年のシールレックス誕生につながったので、結果的に私が合併の橋渡し役となりました。

しかしこの頃から栗原さん



台湾の蔡さん夫妻と栗原夫妻と私

の体を病魔が蝕んでいたのだと思います。昭和四十五年の社長就任時には数億円の年商だったものが、この合併時には六十億円を超えていました。この間、会社と組合活動に心血を注いだ結果、一橋大学の柔道部で鍛えあげた強靱な体も悲鳴を上げていたのだと思います。

歩行がだんだんと難しくなり、視力も衰えてきて日常生活にも影響が出てくる中で、普通の人ならあきらめてしまうところですが、持ち前の精神力の強さか、私をゴルフ、カラオケにと誘ってくださいました。



3年前の入院当時

ゴルフと言えば栗原さんは若いころからゴルフをやられていました。私は五十五歳から始め、ある日栗原さんが「今度シーレックスのコンペがあるから出て

よ」と言われました。

そのとき私はコースに出たのは一回だけで、それも一四〇というスコアでしたので「それは無理です。皆さんに迷惑をかけるだけです。お断りさせていただきます」と何回もお断りしましたが、なおも「大丈夫だよ、プレイ代もおれが出すから出るよ」と半ば強引に引っぱり出されました。表彰式の際に、栗原さんが何で執拗に私を誘ったのかが分かりました。栗原さんがブービー賞で、私が当然ブービーメーカーでした。そのことを言うのにやにと笑っていました。

理事長、日野七郎理事長の補佐役としてそのリーダーシップを発揮して、組合は栗原さん無くしては今日はないと言っても過言ではありません。また、当時の連合会は本各協組の上に位置していなければならなかったのに、同列かそれ以下の単なる連絡機関になっていたことに警鐘を鳴らし、連合会の改革に尽力しました。事務局の分離や協賛会組織の確立、年史の発刊など矢継ぎ早に改革に手腕を発揮し、平成三年には押されて専務理事から会長に就任、さらに改革に期待が集まりましたが、合併に対する理不尽な批判に嫌気がさして平成四年に辞任、その時の悔しさと寂しさが入り混じった顔は忘れられません。パーキンソン病は十年で車いすと言われていますが、栗原さんは決してあきらめることはなく、体が不自由になっても、好きなカラオケにも、行きつけの湯島のスナックへ二人で良く通いました。



昨年の10月に病院で

理事の「小指の思い出」や石原裕次郎の「北の旅人」を歌うときの姿は本当に楽しそうでした。三年前に青梅の介護付きの病院に入院されてからも何度もお見舞いに行かせていただきましたが、奥さんから「本間さんが来てくれるのが嬉しいようです」と聞き、何回も足を運び、昨年十二月にお見舞いに行った時には、年を越せるかという厳しい状態でしたが、私が「また、ゴルフとカラオケに行きましょう」と言うと、苦しい息の中で、ニコツと笑った笑顔が、最後のお別れとなりました。私には兄として、時には親以上の存在でした。長い間本当にありがとうございました。私はまだまだもう少し、会長が愛した組合で頑張ります。

浅草に金箔の情報発信基地
村田金箔「金箔屋 卯兵衛」をオープン

村田金箔グループは、このほど浅草に金箔とゴールドカラーの発信基地として「金箔屋 卯兵衛」をオープンしました。「卯兵衛」とは、一五四年目を迎える同社初代創業者の名前に由来する。

「お手持ちのどんな物にも昇運の金箔をはります」というコンセプトを中心に、ここでしか手に入らない運氣をもたらず金箔製品や金箔ソフトクリーム、さらにゴールドカラーを箔押しや



浅草にオープンした「金箔屋 卯兵衛」

ラベル新聞社は、今年九月二十四日から二十七日までベルギーのブリュッセルで開催される「Label

LABELXPO EUROPE
 ラベル新聞社ツアー企画
 9月21日～29日の8日間

expo EUROPE 2019」の視察ツアーを企画、参加者を募集中です。ラベル業界としては世界最大の展示会である同展はベルギーのブリュッセルで二年前に開催されており、米国のシカゴ、そしてアジアの中国でも開催されている。今回は世界中から六五〇社程度が出展する予定で、今後のラベル業界を占ううえでも必見

同社のツアーは、九月二十一日に(土)に羽田空港を出発し、パリに四泊し、フランスの企業やスーパーマーケットなどを見学し、二十五日から三日間ベルギーのブリュッセルで「Label expo」を見学する予定。

募集要項は次の通り。
 ■日程・九月二十一日(土)から二十八日(土)六泊八日
 ■旅行代金・四十五万二千円(大人一名)
 ■食事・朝六回 夜二回
 ■募集人員・五十名(最小催行人員・三十名)
 ■締切り・七月二十六日(金)

今後のラベル業界を占ううえでも必見
 同社のツアーは、九月二十一日に(土)に羽田空港を出発し、パリに四泊し、フランスの企業やスーパーマーケットなどを見学し、二十五日から三日間ベルギーのブリュッセルで「Label expo」を見学する予定。

■問合せ・申込先・近畿日本ツーリスト ☎03-6730-3220
 またはラベル新聞社へ。☎03-3866-6577

**日印産連が反対表明
 印刷用紙値上げに**

日本印刷産業連合会傘下の十団体は昨年十二月六日に、日本製紙連合会に対して、今年一月一日からの印刷用紙値上げに対して反対表明をしました。

製紙各社は、今年年一月一日出荷分から印刷用紙二〇%以上、情報用紙一〇%以上値上げをすることを発表されました。用紙は印刷における原価の中で最も大きな割合を占めており、需要が減少し続けている中で、用紙価格の引き上げは、さらなる需要の減少に多大な影響を与えることは必至であるとして、今後益々の共通認識と相互理解を持って対処していくことを強く要望いたしますとの書面を製紙連合会に提出しました。

■感染症 「RSウイルス」「溶連菌」とは

寒さや乾燥が厳しくなるにつれ、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなどさまざまな感染症が増加しますが、その中でも近年毎年のように流行し注目されているのが「RSウイルス感染症」と「溶連菌感染症」

小学生以上や大人でも感染します。大人が発症した場合、重症化することもあるので注意が必要です。

■RSウイルスとは

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染によって咳、鼻汁など呼吸器症状を引き起こす病気です。生後1歳までに半数以上が、2〜3歳までにほぼ全ての子どもが感染するとされており、乳幼児の代表的な呼吸器疾患の原因となっています。年齢を問わず生涯にわたり感染を繰り返し、大人が発症する場合もあります。

■対処法と治療

残念ながら、RSウイルスに対するワクチンや治療薬（抗ウイルス薬など）は現在のところありません。感染した場合は、咳き込みなどの症状に対しての対症療法が主体となります。症状が開始した人はマスクをする、乳幼児との接触を避ける、寝室を別にすること、早めの対策を行うことが大切です。

■「溶連菌」とは

溶連菌は、以前は「溶解性連鎖球菌」と呼ばれており、この菌に感染して起こる病気が「溶連菌感染症」です。溶連菌には健康な体には害のないものから病原性の強いものまでさまざまな種類があり、小児科で問題となっているのが咽頭炎を起こす「A群β型溶連菌」です。感染しても無症状の場合が多いのが特徴ですが、

■なぜ冬に感染症が多い

低温・低湿度を好むウイルスにとって、冬は長く生存できる絶好の環境。感染力が強くなるだけでなく、空気が乾燥するとウイルスの水分が蒸発し比重が軽くなるため、空気中に浮遊して伝播しやすくなります。また、外気の乾燥によって咳やくしゃみの飛沫が小さくなり、飛沫に乗ったウイルスがより遠くまで飛ぶようになります。咳・くしゃみによる感染範囲が広くなり、感染スピードが上がります。

■対処法と治療

溶連菌感染症はウイルス性の風邪と異なり、自然に治ることはありません。疑わしい症状が2日以上続く場合は、すぐに受診してください。

治療には抗生物質を服用し、通常2〜3日でのどの痛みが緩和され熱も下がります。ただし、完全に治すためには1週間から10日程度は

《参考資料》

<https://eonet.jp/health/healthcare/health70.html>

No157 健康がいちばん!

冬に流行する感染症

「RSウイルス」と「溶連菌」

です。

咳や鼻汁・鼻づまりなど呼吸器症状を引き起こす「RSウイルス」と、発熱や激しい咽の痛みなどが現れる「溶連菌感染症」は、いずれも主に乳幼児がかかる病気とされていますが、

HOYOA CANDCEO
OPTRONICS(埼玉県
戸田市氷川町3・5124
☎048・447・821
5)は、光学ガラス専門メー
カーであるHOYOAのグル
ープ会社で三〇年以上に亘
りUV光源装置を開発・製

UV印刷用途向けのLED・UV光源 「LSシリーズ」をシール業界に発売



造・販売しており、得意な光
学技術を活かした製品を提
供しています。

今までは、半導体、液晶
パネルの製造工程で不可欠
なUV接着用途向けの光源
を専門としていましたが、遂
にUV印刷用途向けのLED
・UV光源「LSシリー
ズ」を発売しました。

同シリーズの特長は、空冷

式でありながら業界最高ク
ラスの光強度を出力し、かつ
光強度も安定しています。そ
のため、LED専用インキを
用いなくても従来インキを
乾燥させることが可能にな
りました。「LEDは乾燥性
能が悪い」「LEDを使うに
はLED専用インキに変更
しなければならぬ」という
のは、既に過去のお話です。
高い光出力と光安定性を
実現させるため、搭載して
いるLED素子は高性能・高
品質のものを選択して使用
しております。また、LED
素子を如何に冷却させるか
の製品開発課題は、内蔵して
いる空冷ヒートシンクの冷
却能力を最大限に高めるた
めの新技术を採用し解決し
ています。さらに、HOYOA
独自の光学技術を用いるこ
とで光の照射方向を制御し、
UV印刷用に光を最適化し
ています。これらが、HOY
A製LED・UVの強みで
あり、競合他社との差別化へ
と繋がっています。

既に「LSシリーズ」を導
入されたラベル印刷のお客
様からは、電気代が想定以上

に安くなったとの反響が出
てきています。また、現場の
作業の方からは、ランプで
使っていた熱排気ダクトを
無くすることができて騒音
が低減され、現場環境が改善
し仕事がいやしくなったと
のご意見も出ています。

「LSシリーズ」の照射幅
は、最短80mm〜最長640
mmの8ラインナップを揃え
ており、お客様が現在使われ
ている印刷機の幅に合わせて
選ぶことが出来ます。

「LSシリーズ」は直ぐに結
果を出す新世代のLED・
UVです。デモ評価機を多数
揃えていますので、是非実感
して頂きたいと思えます。

